

ウガンダの学校は2月から新学期

日本は卒業シーズンでしょうか？ウガンダの学校は日本の4月からと違って2月から新学期です。私の学校も2月2日から新学期が始まりました。今回はウガンダの学校について紹介します。

新学期に向けて、職員会議は約4時間！



学期初めと終わりに職員会議があります。日本では長くても2時間程度だと思いますが、ティータイムと昼食を合わせて約4時間行われます。長い時は5時間を超えることも！
内容は私の英語力不足のため、あまり理解できませんでしたが、新しい先生の紹介、時間割や補講について、新しい制服についてなどでした。



先生は全員で約60人いますが、会議開始予定の10時にはほとんど集まっておらず、30分後に始まりました。このように時間が読めないことは多々あります。



会議が始まってすぐにティータイム、会議終わりにはご馳走を食べます。

全寮制のため生徒は大荷物を持って学校へ！



ウガンダの学校は通学制と寮制、両方を受け入れている学校など様々です。小学生から寮生活をしている子もいます。
私の学校は全寮制です。学校が始まると勉強道具や衣服、生活用品、ベッドマットなどを持って学校に来ます。そして、学期休みにこれらを持って家に帰ります。家族に車で送迎してもらおう生徒もいますが、車やバイクに載せて自分で運んで来る生徒がほとんどです。

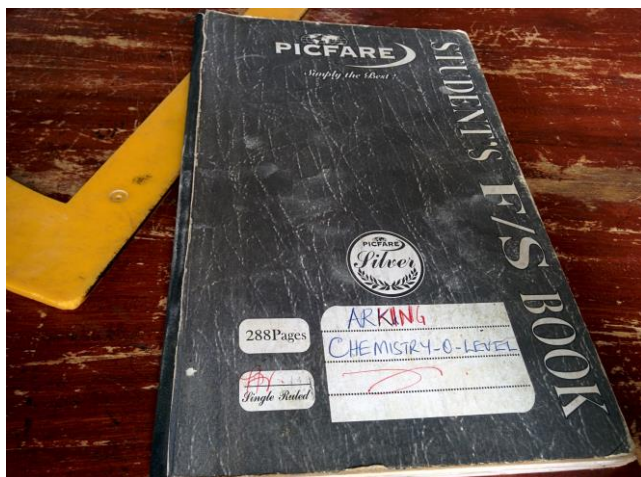
今学期の予定

日にち	予定
2/2(月)	授業開始
3/9(月)~3/17(火)	中間テスト
4/15(水)~4/22(水)	期末テスト
5/1(金)	学期終わり

今学期のおおまかな予定はこのようになっています。2/2から授業が始まりましたが、はじめの1週間は家庭の事情などで学校に来ない生徒も多いです。学校によっては学期の1週目に試験をすることで生徒が学校に来るように促すところもあります。

ウガンダの小中等学校は3学期制です。だいたい1学期は1月末から4月末、2学期は5月中旬から8月初旬、3学期は9月初旬から11月末（各約12週間）です。試験や採点の期間があるため、12週のうち3週間ほど授業は行えません。授業数を確保したい学校（特に寮制の学校）は、試験を土日に行っています。

ほとんどの生徒は教科書を持っていない！



・ウガンダではほとんどの生徒は教科書を持っていません。生徒はこのようなノートを何冊も持っていて、授業で先生が言ったことを書いたり、板書を写したりします。そのため、ノートを取ることができなければ生徒は自分で勉強することができません。

・**ほとんどの生徒は授業で学んだことが唯一の知識で、授業ノートが唯一の参考書です。**

・生徒同士のノートの貸し借りも頻繁に行われ、先輩、他校の生徒からのノートが出回ること。ノートの写しミスが間違った理解にも繋がります。

ウガンダの教科書はあくまで教科内容を勉強するための参考書で、教師は、何種類かの教科書を参考に授業内容を組み立てています。

あとがき

ウガンダの学校は日本よりも休みが多いです。長期休暇は毎学期ごと1ヶ月から2ヶ月近くあります。長期休暇期間は、学校の勉強ではなく、地域社会の勉強をする期間という位置づけです。そのため、学校の補講などは禁止。補講を行い、警察に通報された例もあります。また、デモやストライキで、休校になったり、早く学期が終了することもあります。

